



あつまる つながる まとまる 大いなる田園のまち あつま

広報あつま

ATSUMA TOWN PUBLIC RELATIONS

2023

2

NO.846



第1回 厚真町 二十歳のつどい

新成人の対象年齢が引き下げられたことから
これまでの「成人式」から「二十歳のつどい」へと
名称を変更して、大人の仲間入りをした46人の門出を祝いました。



町教育委員会主催の令和4年度「第1回厚真町二十歳のつどい」が1月8日、総合福祉センター大集会室で開かれ、30人が出席しました。式典では、主催者代表の遠藤教育長が式辞を、宮坂町長と渡部議長が祝辞を述べました。

出席者を代表して秋永珠里さん(富里)が誓いのことばを読み上げ、野呂優花さん(表町)が交通安全宣言。矢倉健瑠さん(上厚

真)に町長から記念品が贈られました。また、吉岡珀和さん(豊丘)が二十歳の主張に立ち、胆振東部地震の経験に触れながら「大人への一歩を踏み出しました。私たちの故郷・厚真町が発展することを心から願い、将来、新成人の模範となるべく精進していくことを誓います」と宣言しました。

式典に続いて行われたアトラクションでは、中学校時代の恩師たちのビデオメッセージも披露され、来場者は笑顔を浮かべながら穏やかな時間を過ごしました。

1月のあつま

第16回あつま国際雪上3本引き大会(同実行委員会主催、池川徹実行委員長)が1月15日、3年ぶりに本郷地区のかしわ公園野球場で行われ、30チームが熱戦を繰り上げました。

1チーム8人が、開始の合図でコートに置かれた3本の綱のうち2本を先に自陣に引き込むと勝利します。厚真発祥の競技で、知力や体力、判断力が問われます。各チームは、入念な練習と作戦を練ってコートに繰り出し、雪にまみれながら全力を尽くしました。

優勝を飾ったのは、平成29年の初優勝から5連覇を果たした苫小牧市のパンプアップ塾苫小牧。表彰式で田口浩生主将は「目標の大会5連覇が達成できました。喜びと共に、目標が達成できたのでチームを解散します」と話し、有終の美を飾った選手に会場から拍手が送られました。



第16回 あつま国際雪上3本引き大会

3年ぶりの開催は強豪チームが
5連覇で有終の美を飾りました。



ひとのうごき

人口 4,370人 (-11)
男 2,195人 女 2,175人

世帯数 2,119世帯 (-10)

令和5年1月31日現在 ()内は前月比

広報あつま

ATSUMA TOWN PUBLIC RELATIONS

2023

2

NO.846

- 2 ひとのうごき
- 3 第1回厚真町二十歳のつどい
第16回あつま国際雪上3本引き大会
- 4-5 令和3年度決算
- 6-9 町からのお知らせ
- 10-12 まちの話題
- 13 令和4年第4回定例会
- 14 民生委員・児童委員
- 15 厚高インフォ/よりみち通信
- 16 地域おこし協力隊
- 17 地域おこし協力隊・地域活性化起業人
活動報告会/将来の夢/町民の活躍
- 18-19 保健の掲示板
- 20 健康情報
- 21 野菜アッププロジェクト/栄養教室
子育て支援センター
- 22 宮の森こども園民営化
まちのアイドル
住宅用火災警報器を設置しましょう
- 23 防災のページ/停電情報
- 24 ひと育て・まち育てシンポジウム
こぶしの湯あつま
- 25 情報ひろば
- 26 ATSUMA LOVERS

令和4年12月12日~令和5年1月31日届出分

※窓口などで、広報紙への掲載について確認できた方を掲載しています。

厚真町公式SNS



お知らせや最新情報を発信しています!

広報あつまはインターネットでも!

厚真町ホームページ
トップページ下部のバナーから
広報あつま

Hokkaido ebooks

エリアで探す→胆振→厚真町



COVER

今月の表紙



氷点下5度。コロナ禍で3年ぶりに開催された「第16回あつま国際雪上3本引き大会」(実行委員会主催)の会場は、選手や家族たちの応援で熱気に包まれました。歯を食いしばったり顔が緩んだりと選手の表情は千変万化。地元チームが出場すると、ひと際声援が強まりました。

特別会計

特別会計は、特定の事業を行う場合、その特定の収入(保険料や使用料など)をもってその支出に充てるために、一般会計と別の会計になっています。
本町には6つの特別会計があり、介護サービスを除く会計は歳入が歳出を上回っています。

特別会計名	歳入	歳出	差し引き
国民健康保険事業	5億6,423万円	5億5,049万円	1,374万円
後期高齢者医療事業	9,357万円	8,793万円	564万円
介護保険事業	6億314万円	5億9,734万円	580万円
介護サービス事業	3,542万円	3,542万円	0万円
簡易水道事業	6億3,478万円	6億2,149万円	1,329万円
公共下水道事業	2億7,862万円	2億6,431万円	1,431万円
計	22億977万円	21億5,701万円	5,276万円

健全化判断比率と資金不足比率の公表

自治体の財政破たんを未然に防ぐとともに、悪化した団体に対して早期に健全化を促すことを目的とした「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」(財政健全化法)により、地方公共団体は毎年度、財政に関する指標である「健全化判断比率」と「資金不足比率」を算定し、監査委員の審査を受けた上で、議会に報告するとともに、地域住民に公表することが義務付けられています。

健全化判断比率

健全化判断比率とは、財政の早期健全化や再生の必要性を判断するための指標であり、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の4つの財政指標の総称です。「-」は、実質赤字額・連結赤字額がない(黒字である)ことを示しています。

区分	厚真町	早期健全化基準	財政再生基準	説明
① 実質赤字比率	-	15.0%	20.0%	普通会計の赤字からみる財政運営の深刻度
② 連結実質赤字比率	-	20.0%	30.0%	全ての会計の赤字からみる財政運営の深刻度
③ 実質公債費比率	10.5%	25.0%	35.0%	借金の返済額等の大きさからみる資金繰りの危険度
④ 将来負担比率	-	350.0%	基準値なし	町が抱える負債の残高からみる将来財政への圧迫度

[基準について]

①～④が早期健全化基準以上の場合には、財政健全化計画を定めなければなりません。

①～③が財政再生基準以上の場合には、財政再生計画を定めなければなりません。

資金不足比率

資金不足比率とは、公営企業の資金の不足を、公営企業の事業規模である料金収入の規模との比較を指標化したもので、経営状況の深刻度を示すものです。「-」は、資金不足額がない(黒字である)ことを示しています。

区分	厚真町	経営健全化基準
簡易水道事業特別会計	-	20.0%
公共下水道事業特別会計	-	20.0%

[基準について]

資金不足比率が経営健全化基準以上の場合には、経営健全化計画を定めなければなりません。



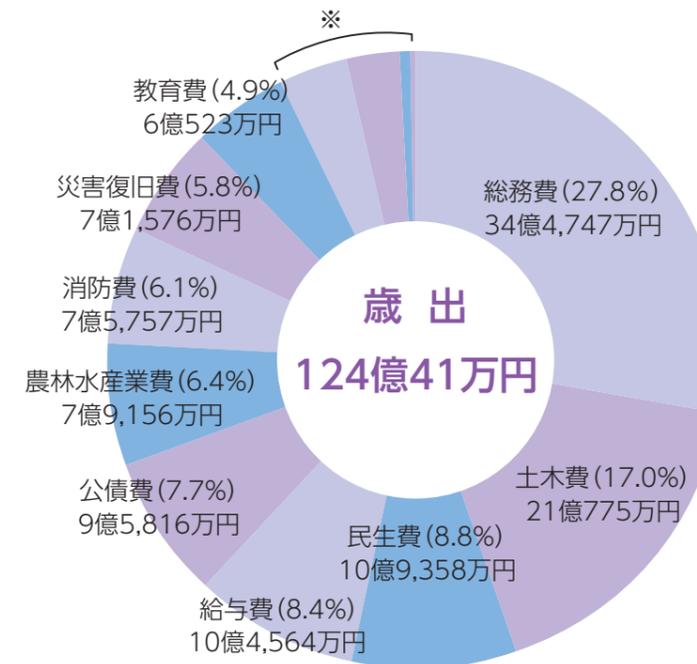
令和3年度 決算

令和3年度における町の一般会計と特別会計の決算が、昨年12月に開かれた令和4年町議会第4回定例会で認定されました。皆さんに納めていただいた税金や、国や北海道などから町に入ったお金が1年間どのように使われているかをお知らせします。※各項目の合計と総額の相違は、端数処理によるものです。

問い合わせ 総務課 財政グループ ☎27-2481

一般会計

一般会計は、市町村の財政の基本を示す家計簿といえるもので、税金などの収入を示す「歳入」と、その使い道を示す「歳出」の2つから成り立っています。



使い道

総務費：町の一般的な事務、まちづくり
土木費：道路、河川の整備
民生費：福祉の充実
給与費：職員の給料、手当
公債費：借入金の返済
農林水産業費：産業振興
消防費：消防、災害対策
教育費：学校教育・生涯学習の推進
衛生費：医療の充実・ごみ処理
商工費：商工振興
議会費：議員の報酬、手当
労働費：労働者福祉事業

※の内訳
衛生費(3.7%) 4億5,889万円
商工費(2.8%) 3億4,625万円
議会費(0.5%) 5,675万円
労働費(0.1%) 1,575万円

主な歳入

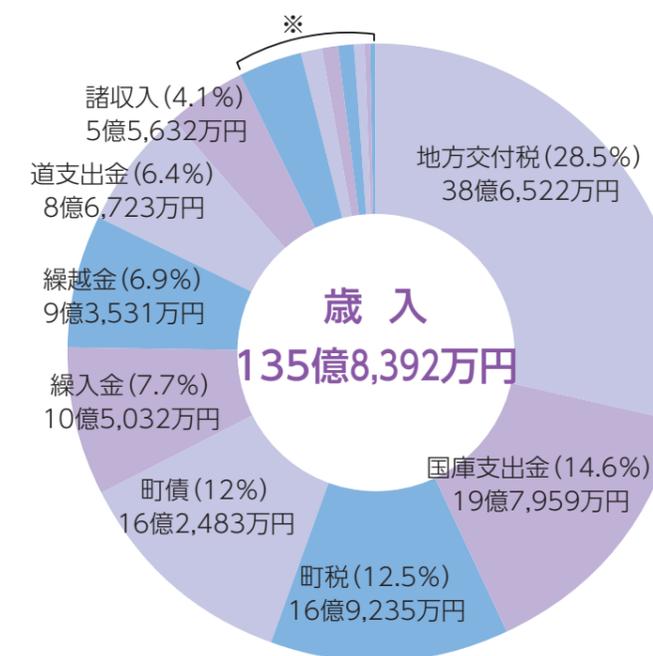
地方交付税
地方公共団体間の財源の不均衡を調整し、一定水準の行政サービスを確保できるよう財源を保障するもの。

国庫・道支出金
特定の行政目的を達成するために国や道から町に交付されるもの。

町税
町内の住民や企業などから集められるもの。町民税や固定資産税、軽自動車税、市町村たばこ税。

町債(地方債)
自治体の借入金でその返済期間が2年以上にわたるもの。

※の内訳
寄付金(3.6%) 4億9,246万円
使用料及び手数料(1%) 1億3,422万円
地方消費税交付金(0.9%) 1億2,547万円
地方譲与税(0.8%) 1億686万円
財産収入(0.6%) 8,255万円
分担金及び負担金(0.3%) 3,587万円
その他(0.3%) 3,524万円



子育て世帯の賃貸住宅家賃一部助成

住民課 子育て支援グループ ☎ 26-7872
(総合ケアセンターゆくり内)

賃貸住宅に入居している子育て世帯に家賃の一部を補助します。公営住宅も対象です。

対象

- 次のすべてに該当する世帯
- ①18歳までの子どもがいる世帯
 - ②町内の賃貸住宅に入居している世帯(子育て支援住宅、月額家賃48,000円以下を除く)
 - ③世帯の合算所得が5,844,000円以下の世帯
 - ④町税等に滞納がない世帯

助成額

子ども1人当たり月額最大3,000円分
※あつまるポイントで還元
※上限は月額家賃から48,000円を差し引いた額

対象期間

令和4年10月～令和5年3月の6カ月分

受付期間

4月28日(金)まで

必要書類

- ・賃貸借契約書等の家賃の金額が確認できる書類
 - ・家賃の納付が確認できる書類(支払領収書や引落口座通帳のコピーなど、6カ月分の支払いが確認できるもの)
 - ・あつまるカード
- ※令和4年1月1日に町外に居住していた方は、住所のあった自治体が発行する所得証明書および町税等の滞納がない証明書が必要です。

受付窓口

住民課子育て支援グループ、上厚真支所

子育て世帯生活支援特別給付金 北海道子育て世帯臨時特別給付金

住民課 子育て支援グループ ☎ 26-7872
(総合ケアセンターゆくり内)

新型コロナウイルス感染症の影響で収入が急変した子育て世帯へ給付金を支給しています。

対象

- 次のいずれかに該当する方
- (1)令和4年4月分の児童手当または特別児童扶養手当の受給者で、令和4年度分の住民税均等割が非課税の方
 - (2)令和4年3月31日時点で18歳未満の子(障がい児は20歳未満)を養育しており、次のいずれかに該当する方
 - ①令和4年度分の住民税均等割が非課税の方
 - ②新型コロナウイルス感染症の影響で家計が急変し、住民税非課税相当の収入となった方
- ※令和4年4月以降から令和5年2月28日までに生まれる新生児も対象。
※子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)を受け取った方は除く。
※給付申請には、税の申告が必要です。

支給額

国の給付金：児童1人当たり一律5万円
北海道の給付金：児童1人当たり一律1万円

申請・支給

- ・申請書に振込先口座等を記入し、必要書類とともに窓口を持参または郵送で提出してください。
- ・申請書は、住民課子育て支援グループ、上厚真支所で配布のほか、町ホームページからもダウンロードできます。

受付期間

2月28日(火)まで

めぐるくんの「おためしウェブ予約」

まちづくり推進課 企画調整グループ ☎ 27-3179

デマンド交通めぐるくんにさらに便利にご利用いただくため、予約アプリを導入します。

現在、めぐるくんの乗車予約ができる専用アプリを開発しています。本格的な利用開始前に、実証実験を行います。

対象

いつもめぐるくんを利用している方で、スマートフォンやタブレットをお持ちの方

利用方法

希望される方には、ウェブ予約システムの「乗客アプリ」の利用に必要な「利用者ID」、「パスワード」、「利用マニュアル」を送付します。
※アプリのインストールおよび利用にはインターネット回線が必要です。

確定申告は自分で作成してお早めに

苫小牧税務署 ☎ 0144-32-3165

確定申告会場は大変混雑します。是非、ご自宅での申告書の作成・提出をお願いします。

令和4年分の確定申告期限

所得税および復興特別所得税、贈与税

確定申告書の提出期限は3月15日(水)

消費税および地方消費税(個人事業者)

確定申告書の提出期限は3月31日(金)

期間間際になると、確定申告会場は大変混雑します。新型コロナウイルス感染症防止のため、多くの方が訪れる確定申告会場ではなく、是非、ご自宅での申告書の作成・提出をお願いします。

国税庁ホームページでは、スマートフォンやパソコンなどから、所得税・消費税・贈与税の申告書を作成し、e-Tax(電子申告)等で提出することができます。



確定申告は役場でも受け付けます

住民課 税務グループ ☎ 26-7871
(総合ケアセンターゆくり内)

令和4年分の所得税の確定申告の相談および申告書の受け付けは2月16日(木)～3月15日(水)

所得税の確定申告は、住民課税務グループでも受け付けます。なお、申告の内容次第で税務署にご案内する場合がありますので、ご了承ください。

※事業所得がある方は、収支内訳書または青色申告決算書をご自身で作成ください。

※医療費控除を申請される方で、保険者が発行する医療費の額などを通知する書類がない場合は、「医療を受けた方」「病院薬局等」ごとに支払った医療費の額を集計のうえお越しくください。

受付期間

2月16日(木)～3月15日(水)
8時30分～17時30分
※土曜・日曜・祝日を除く

受付会場

総合ケアセンターゆくり 2階特設会場(ロビー)

所得税・町道民税の障害者控除

住民課 福祉グループ ☎ 26-7872
税務グループ ☎ 26-7871

要介護等認定を受けている方も、申請により障害者控除対象として認定が受けられる場合があります。

障害者控除とは

所得税や町道民税の納税者本人や扶養親族等(年少扶養含む)が障がい者であるときは、申告により障害者控除等を受けることができます。

対象(令和4年12月31日時点の状況)

①特別障害者控除…身体障害者手帳1級・2級、療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳1級をお持ちの方

控除額	所得税	所得金額から40万円が控除
	町道民税	所得金額から30万円が控除

②障害者控除…①以外の等級の障害者手帳をお持ちの方

控除額	所得税	所得金額から27万円が控除
	町道民税	所得金額から26万円が控除

・「別に暮らしている子に扶養されている」などの場合には、申告により子が控除を受けることができます。

・障害者手帳をお持ちでない方でも、要支援・要介護認定を受けている方のうち、寝たきりや認知症の状況によっては、申請することで障害者控除の対象として認定が受けられる場合があります。

詳しくは住民課税務グループ・福祉グループまでお問い合わせください。

農業委員を募集します

産業経済課 農業グループ ☎ 27-2419

町では、7月19日の現農業委員の任期満了に伴い、次期農業委員を募集します。

選出方法

前回(平成29年)から、これまでの「選挙制と選任制の併用」から「町議会の同意を要件とする町長の任命制」に改められました。また、農業委員の定数は18人から14人に減員されます。

募集期間

2月28日(火)まで

募集人員

14人

任期

3年(令和5年7月20日～令和8年7月19日)

職務内容

農地の権利移動・設定の許可や農地転用等の審議、担い手への農地利用の集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消等の活動

報酬

厚真町非常勤公職者の報酬および費用弁償支給条列に基づき支給

応募方法

農業者などからの推薦または自ら応募
応募用紙や募集要領は産業経済課農業グループ、農業委員会事務局、上厚真支所で配布のほか、町ホームページからダウンロードできます。

農業生産費高騰対策事業補助金

産業経済課 農業グループ ☎ 27-2419

町では、営農掛かり増し経費に対する補助金を交付します。

内容

新型コロナウイルス感染症や、世界情勢の悪化および円安による輸入生産資材の値上がりに加え、社会全般の物価高により農産物の需要が低迷し、大きな影響を受けている農業者に補助金を交付します。

対象者

令和4年4月1日～11月30日に出荷実績のある農業経営体

対象経費

①肥料費 ②飼料費 ③農薬費
④諸材料費 ⑤動力光熱費

補助額等

対象経費に令和4年10月農業生産資材価格指数の対前年比増高割合などを乗じた額の1/2以内
※詳しい算出方法は受付でご案内します
※補助上限額100万円で1,000円未満切り捨て
※予算の関係により減額となる場合があります

受付期間と受付場所

2月20日(月)～3月8日(水)9時～15時
総合福祉センター1階大集会室
3月9日(木)～15日(水)
産業経済課農業グループ、JAとまこまい広域厚真支所

※土曜・日曜日・祝日は除く

持ち物

・令和4年分所得税青色申告決算書や収支内訳書(法人は令和4年の対象経費が分かる決算書類)
・印鑑(認印)
・補助金の受取口座が分かる通帳など
※税理士申告等で受付期間中の提出が難しい場合は、ご相談ください。

町議会議員選挙の立候補予定者説明会

町選挙管理委員会 ☎ 27-2322

4月23日(日)執行の厚真町議会議員選挙の立候補予定者説明会を開催します

日時

3月24日(金)13時30分から

場所

総合福祉センター1階大集会室

高齢者等の冬の生活支援

住民課 福祉グループ ☎ 26-7872
(総合ケアセンターゆくり内)

町では、高齢者等の冬期間家庭用暖房費の一部を支援しています。

交付対象世帯

- ①高齢者世帯
令和5年3月31日現在で65歳以上の高齢者のみで構成する高齢者世帯、または65歳以上の高齢者と満18歳未満の方のみで構成する世帯で、令和3年分の年金収入額と世帯のその他の合計所得金額の合計額が次に掲げる額以下の世帯
ア.単身世帯120万円以下
イ.2人以上の世帯160万円以下
 - ②ひとり親世帯
義務教育終了前の児童・生徒がいる世帯で、令和3年分の合計所得金額が240万円以下の世帯
 - ③障がい者がいる世帯
世帯に障害者年金を受給している方がいて、令和3年分の年金収入額と世帯のその他の合計所得金額の合計額が240万円以下の世帯
 - ④その他、町長が特に必要と認めた世帯
- ※ただし、次の世帯は対象となりません。
生活保護世帯、施設入居世帯、税法上の扶養控除を受けている世帯、医療保険の被用者保険の被扶養者となっている世帯、同一家庭に居住し世帯分離をしている世帯

支援金の額および支給方法

1世帯当たり2万2千円を現金(口座振込)で支給

申請受付期間

3月24日(金)まで

申請方法・場所

全戸配布した申請書(チラシ)と印鑑を持参のうえ、下記の場所で申請してください。

※体が不自由で交通手段が確保できないなどの理由で申請が困難な場合は、お住まいの担当地区の民生委員に申請用紙を提出するか、住民課福祉グループ(〒059-1692 京町120番地)に郵送してください。

申請窓口

住民課福祉グループまたは上厚真支所

高校生の通学費等助成

住民課 子育て支援グループ ☎ 26-7872
(総合ケアセンターゆくり内)

町外の高校に通学する生徒の保護者に対して、通学費などの一部を助成します。

対象

町外の高校(高等専門学校は1～3年生)へ通学または下宿などを行っている生徒の保護者
※町内在住の保護者に限る

助成内容

月額5,000円×5カ月分
(あつまるポイントで還元)

対象期間

令和4年10月～令和5年3月
(長期休暇1カ月分を除く5カ月分)

必要書類

・在学証明書(発行日から2カ月以内)または在籍期間証明書 ※卒業証書は不可
・あつまるカード

受付期間

4月28日(金)まで

提出先

住民課子育て支援グループまたは上厚真支所

デザイナーの寛裕介さんが講演 「認知症世界の歩き方」



認知症について説明する寛さん

町の「認知症サポートのフォローアップ事業」の一つとして、issue+design(特定非営利活動法人イシュープラスデザイン)代表の寛裕介さんの講演会「認知症世界の歩き方：対話とデザインの力で挑む」が12月6日、総合福祉センターで開かれました。

寛さんは、苫小牧市出身のデザイナーで、デザインを使って福祉や震災復興など社会に潜在するさまざまな課題や問題の解決策を研究・実践しています。講演会では、認知症の人の言動には、人の顔の認識ができず味覚や嗅覚が鈍化するなどとし、論理的な説明に意味がないと指摘。はい徊を例に挙げ、「会社員時代の記憶が強ければ毎朝外出し、途中で記憶があいまいになるとパニックから自分の居場所が分からなくなります」と語り、「行動の背景を考えた接し方が大切です」呼びかけました。

教育長に再任 遠藤秀明さんに辞令交付

町は12月8日、任期満了に伴い町議会の同意を得て教育長に再任された遠藤秀明さんに辞令を交付しました。

3期目を迎えた遠藤さんは「教育行政に心血を注ぐ覚悟です。ふるさとのために、引き続き頑張ります」と改めて抱負を述べました。



辞令交付された遠藤教育長

彫刻家の北村哲朗さんが 被災木の彫刻3点を町に寄贈

登別市の彫刻家の北村哲朗さんが12月8日、胆振東部地震の被災木を使った彫刻3点を町に寄贈しました。

被災木の彫刻は、一昨年12月に続き2回目。樹齢推定80年を超えたナラ材の作品名は「水脈」「風待ち」「風を集めて」。役場庁舎玄関と厚南会館、町長室に置かれました。北村さんは「震災で倒れた樹を再び立てたいとの思いがあります。作品に触れることで、記憶を記録し、新たな風を起こして欲しい」と震災復興への思いを語りました。



倒木で作った彫刻を町に寄贈した北村さん

あつまクリニック理事長の石間巧院長が 北海道社会貢献賞の受賞を町に報告

あつまクリニックの理事長で院長の石間巧さんが12月16日、町長室で北海道社会貢献賞(地域医療功労表彰)の受賞を報告しました。

平成18年から、町民のかかりつけ医として地域医療に貢献され、新型コロナワクチン接種などにも尽力していることなどが評価されました。石間さんは、すてきな笑顔と共に賞状を示し、引き続き地域への貢献を語りました。



北海道社会貢献賞を手に温かな笑顔で受賞報告する石間さん



厚真ライオンズクラブがタオルを寄贈

厚真ライオンズクラブ(高田芳和会長)は11月25日、厚真町社会福祉協議会(大橋正治会長)にフェイスタオル450枚を寄贈しました。

介護施設などで活用してもらうため、平成26年からフェイスタオルを寄贈しています。高田会長は「フェイスタオルは必需品。購入費の負担軽減を側面から支援したい」と話し、感謝する大橋会長に寄贈しました。



大橋会長(右)にタオルを寄贈する高田会長

町が盛興建設株式会社と 岩田地崎建設株式会社に感謝状



岩田地崎建設の渡邊取締役専務



盛興建設の原社長(中央)

町は11月29日、地域貢献に尽力した岩田地崎建設株式会社(岩田圭剛代表取締役社長)に、12月16日には盛興建設株式会社(原広吉代表取締役社長)にそれぞれ感謝状を贈りました。

岩田地崎建設株式会社は、町交流促進センターこぶしの湯あつま周辺の清掃や草刈りなど、環境整備に尽力。また、盛興建設株式会社は、厚真中央小学校や厚真放課後こどもセンターの清掃活動による環境整備に貢献されました。

オンライン座談会を開催 「胆振東部地震から4年、 被災地の現在とこれから」

2022オンライン座談会「胆振東部地震から4年、被災地の現在とこれから」(主催・胆振総合振興局、胆振町村会、厚真・安平・むかわ町)が11月29日、総合福祉センター大集会室で開かれ、被災3町から現状と課題が報告されました。

座談会には、被災3町の首長をはじめ、オンラインを含めて約160人が参加しました。事例発表では、株式会社あつまみらい代表取締役の山口善紀さんがハスカップを使った商品開発やハスカップのPRについて、一般社団法人厚真町観光協会事務局の原祐二さんが震災後の被災地現地ガイドや新たに取り組んでいる学習プログラムなどを説明しました。

意見交換で、宮坂町長は「あらゆる世代で未来や夢を追いかけることができる地域にしたい」と結びました。



被災地の現状や今後について報告されたオンライン座談会

家畜自衛防疫組合が養鶏事業者に消石灰を寄贈

厚真町家畜自衛防疫組合(山田澄恵組合長)は12月2日、高病原性鳥インフルエンザ対策の負担軽減のため、町内で採卵鶏を飼育するテンアール株式会社(小林廉代表取締役)に消毒用の消石灰を寄贈しました。

山田会長は「資材などが高騰して、経営は三重苦ですが、皆で頑張っ乗り越えたい」と話しました。

町も町内3カ所の養鶏事業者に防疫剤などを配付しました。



消石灰を贈る山田組合長(右)と小林代表



町に牛乳贈答券を寄贈する宮田組合長(左)

JAとまこまい広域が町に牛乳贈答券を寄贈

JAとまこまい広域の宮田広幸代表理事組合長は12月19日、町内のこども園の全幼児向けに牛乳贈答券250セットを寄贈しました。牛乳の消費拡大や子どもたちの健康増進などが目的です。同席したこども園つみきの油谷諭園長は「おやつなどで、牛乳を提供したい」と感謝しました。

厚幌ダム遺跡群の出土品 329点を町有形文化財に一括指定

町教育委員会は、厚幌ダム遺跡群で発掘された約400年から1000年前のアイヌ文化関連の出土品が学術的に貴重な資料と裏付けられたため、11月25日に町有形文化財に指定しました。指定したのは、上幌内モイ遺跡や上幌内2遺跡、オニキシベ2遺跡で発掘された日本刀や京都産の道内最古の和鏡、大陸産の装飾品などで、329点を1点として一括指定しました。出土品は、アイヌ民族の文化のルーツや活発な交易などを伝える貴重な資料で、事前に連絡があれば、軽舞遺跡調査整理事務所で見学することができます。



町有形文化財に指定した出土品について説明する学芸員

厚真消防団の出初め式

令和5年厚真消防出初め式が1月6日、総合福祉センター大集会室で行われ、44人が一年の無事を誓いました。式典のみ行われ、北海道知事賞(功労賞)を受賞した五十嵐次男団長(1月29日ご逝去)をはじめ24人に功労賞などを伝達。管理者の宮坂町長は「しなやかで安全なまちを再構する中核として、皆さんにはご尽力をお願いしたい」と呼びかけました。



消防職団員に式辞を述べる管理者の宮坂町長

厚真町新年交礼会「飛躍の年」を願う

町議会、JAとまこまい広域、町商工会、土地改良区、農業委員会、苫小牧広域森林組合の6団体主催による厚真町新年交礼会が1月10日、総合福祉センター大集会室で開かれ、約130人が出席しました。主催者を代表して、世話団体である商工会の寺坂文秀会長が「国内経済が停滞することのないように私たち6団体は行政や関係機関と一丸となって課題に取り組みます」とあいさつ。6団体の代表と宮坂町長の7人で鏡抜きをして、新年の幕開けを祝いました。



鏡抜きで新年の幕開けを祝う関係者たち

議会

令和4年第4回定例会

令和4年第4回町議会定例会が、12月13日から14日の2日間の会期で開かれました。審議されたのは令和4年度厚真町一般会計補正予算など議案24件、同意1件、諮問2件、報告4件、承認1件、認定6件で、いずれも原案どおり可決されました。

議案

- ◇厚真町議会議員及び厚真町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正
- ◇厚真町職員の定年等に関する条例の一部改正
- ◇地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に伴う条例の制定
- ◇厚真町非常勤公職者の報酬及び費用弁償支給条例の一部改正
- ◇厚真町税条例の一部改正
- ◇厚真町道営土地改良事業分担金徴収条例の一部改正
- ◇厚真町こども園の設置及び特定教育・保育の実施に関する条例の一部改正
- ◇厚真町国民健康保険条例の一部を改正する条例の一部改正
- ◇定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定の締結
- ◇財産の無償譲渡
- ◇財産の貸付
- ◇財産の取得
- ◇指定管理者の指定(厚真町高齢者グループホーム)
- ◇指定管理者の指定(厚真町高齢者生活福祉センター)
- ◇指定管理者の指定(厚南老人デイサービスセンター)
- ◇指定管理者の指定(厚真町交流促進センター)
- ◇指定管理者の指定(浜厚真野原公園サッカー場)
- ◇新町地区大規模盛土造成地滑動崩落防止工事(その3)工事請負契約の変更
- ◇令和4年度厚真町一般会計補正予算(第11号)
 - ・歳入歳出それぞれ3億200万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額はそれぞれ92億4096万6千円となりました。
 - ・庁舎周辺等整備事業(役場庁舎)調査設計委託料(3560万円)
 - ・個人番号カード交付事業(125万3千円)
 - ・高齢者等の冬の生活支援事業(200万円)
 - ・自立支援給付及び障害児給付事業(470万円)
 - ・介護人材確保支援事業(350万円)
 - ・農業生産費高騰対策事業(8000万円)
 - ・庁舎周辺等整備事業(道路)調査設計委託料(360万円)
 - ・橋梁長寿命化事業(3500万円)
 - ・庁舎周辺等整備事業(公園)調査設計委託料(580万円)
 - ・日本海溝・千島海溝地震防災・津波防災対策事業(2100万円)
 - ・庁舎周辺等整備事業(文化交流施設)調査設計委託料(5030万円)
 - ・令和4年度厚真町国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)
 - ・令和4年度厚真町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
 - ・令和4年度厚真町介護保険事業特別会計補正予算(介護サービス事業勘定(第1号))
 - ・令和4年度厚真町簡易水道事業特別

報告

- ◇専決処分(町道幌内左岸線道路改良舗装工事(その1)工事請負契約の変更)の報告
- ◇所管事務調査報告(各常任委員会)
- ◇委員会調査報告(新庁舎周辺等整備調査検討特別委員会)
- ◇現金出納例月検査の結果報告
- ◇専決処分の承認(令和4年度厚真町一般会計補正予算(第10号))

承認

- ◇令和3年度厚真町一般会計歳入歳出決算の認定
- ◇令和3年度厚真町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定
- ◇令和3年度厚真町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定
- ◇令和3年度厚真町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定
- ◇令和3年度厚真町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定
- ◇令和3年度厚真町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定

認定

- ◇厚真町固定資産評価審査委員会委員の選任
- ◇厚真町固定資産税評価審査委員に次の1人が選任されました。
 - ・大山一樹(上厚真)
- ◇人権擁護委員候補者の推薦
- ◇人権擁護委員候補者として次の2人を推薦しました。
 - ・谷内朱美(高丘)
 - ・田中敏光(豊川)

諮問



Vol.278

学校の取り組みはホームページでも!



▼コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)発定について

文科省や道ではコミュニティ・スクール(以下CS)と地域学校協働活動の一体的な推進による地域と学校の連携・協働体制(地学協働)の構築を推進しています。本校でも4月よりCSを導入し、より一層教育活動の充実および改善を図ってまいります。

▼e-ネット安心講座を開催(12月9日)

総務省北海道総合通信局の川村さんをお招きして、e-ネット安心講座を開きました。日常生活や学習・仕事に欠かせないインターネットの安心・安全な利用のため、必要なルールとマナーを学び、有害サイト・詐欺行為等から身を守るスキルを習得しました。

▼屋内体育大会(12月22日)

生徒会執行部と体育委員が、企画・運営しました。スポーツに親しみ、生徒同士の親睦を深めるのが目的です。体育館が会場で、開会式に続いてバレーボールや卓球、ドッジボール、3本引きで青春の汗を流しました。表彰式でも互いの健闘をたたえ合いました。

▼職場体験学習発表会・合格体験発表会(12月23日)

全校生徒が体育館に集いました。生



屋内体育大会

▼全校集会(12月24日)

コロナ禍のため、生徒は歌わずに流れる校歌を聞き、集会が始まりました。表彰伝達では、中高生意見発表会奨励賞、バドミントン大会シングルス優勝、家庭クラブ優秀賞、全道写真展佳作、各種検定合格(電卓、情報処理、ワープロ、数学)の伝達が行われました。清水美由紀校長から壇上で1人ずつ賞状を受け取り、全校生徒が拍手でたたえました。校長講話、各担当の話の後、教室では担任が諸注意等を伝えて冬休みに入りました。



民生委員・児童委員

▶民生委員とは
民生委員法に基づく福祉分野の無給の奉仕者で、住民の立場に立って相談・援助を行います。町や北海道に対する「協力機関」と位置付けられており、厚生労働大臣が委嘱します。

▶児童委員とは
児童福祉法に基づいて妊産婦や児童を対象に情報提供などをする無給の奉仕者で、この法律で民生委員が兼ねられるよう規定されています。民生委員・児童委員は町内で担当区域を決めて活動することになっており、皆さんの身近な相談者といえます。

▶主任児童委員とは
民生委員・児童委員のうち厚生労働大臣から指名された方で、区域を担当せず、児童福祉機関と民生委員・児童委員との連絡・調整をしたり、民生委員・児童委員を援助したりします。

▶任期
それぞれ任期は、令和7年11月30日までの3年間です。

▶委員の活動
民生委員・児童委員の活動内容は、民生委員法に規定されている次の6点です。
①住民の生活状態を把握する。
②相談・助言・その他の援助を行う。
③福祉サービスを適切に利用するために必要な情報提供その他の援助を行う。
④社会福祉事業を営む人(本町は町社会福祉協議会)と密接に連携し、その事業や活動を支援する。
⑤福祉事務所その他の関係行政機関の業務に協力する。
⑥住民の福祉増進を図るための活動を行う。毎月1回定例会議を開き、地域の福祉問題の分析や担当している世帯への援助方法などの検討を行う。

▶委員の身分
仕事の内容から地方公務員とされ、現在は、北海道の特別職に属する地方公務員となっています。職務の遂行にあたっては、個人の人格を尊重し、秘密を守り、いかなる差別も優先的な取り扱いもできません。

任期満了に伴い、全国一斉に民生委員・児童委員と主任児童委員の改選が行われ、厚生労働大臣と北海道知事から委嘱を受けた20人の新しい委員を紹介します。(敬称略)
困りごとなど、お気軽にご相談ください。民生委員の連絡先が必要な方は事務局へお問い合わせください。

新しい委員の担当地区と氏名			
主任児童委員 野澤 政博	主任児童委員 秋永 晴美	幌内 佐藤 勝重	富里・高丘吉野 荒谷志津夫
東和・宇隆 岩崎 恵美	本郷ともいきの里 兵頭 敏枝	本郷団地 玉木 秀幸	幌里幌里開拓 鳥谷 澄子
西町・南町表町団地 佐藤 忠美	新町 加藤 恵子	ルーラルフォーラム 渡辺 正仁	美里・豊川 阿部 清一
厚和・浜厚真清住 曾根 正勝	豊丘・軽舞 山路 美幸	鹿沼・鯉沼 長谷川和司	桜丘・朝日 笠原 徹
東町・北町南町 麻生理恵	上野・豊沢富野 宮崎 和幸	共栄・共和共和団地 大藏めぐみ	上厚真 村上 朋子

動機に裏付けられた厚高生を創出するために

よりみち学舎のプレオープンから1年。高校生活魅力化プロジェクトについて話し合う「魅力化の未来を語る会」を1月10日に開き、厚真高校や町の未来をチームで議論しました。

よりみち通信



「よりみち学舎」は厚真高校と地域が連携しながら放課後を利用して生徒が自ら目標を発見し挑戦する公営塾です。

何かに取り組むとき、目的の先に自分が何を求めるのか。単純そうで見失いがちです。例えば、ダイエット。「痩せたい」というのはとても曖昧で、「痩せて、この服を着たい」「病気にかかるリスクを減らしたい」など、具体的な動機があって初めて、継続的に自発的な取り組みができると考えます。そういった「動機付け」が大切だと考えました。

「うちの子は勉強をしない」と、ご家庭の方から話を聞きます。なぜ勉強するのでしょうか?テストで良い点数を取るため、親に認められたいため、志望校に入るため…理由はさまざまです。僕自身、学生時代は勉強漬けではありませんが、「深く知りたい」とか「こうなりたい」と強く思えば今も必死に学んでいます。勉強自体が目的ではなく、「なりたい自分」を自覚することは、年齢に関係なく全ての学びにおいて大切です。

よりみち学舎は、個々の目的や動機を一緒に見つけ価値観を高めています。挑戦し続ける同級生の存在や厚真でチャレンジする大人との交流も学びです。強い動機に裏付けられた厚高生の創出。一生を支える学びの場として、よりみち学舎を磨いていきます。 教育魅力化支援員 加藤千昇



魅力化の未来を語る会

地域おこし協力隊・地域活性化起業人 活動報告会

厚真町を拠点に活動している地域おこし協力隊と地域活性化起業人、総勢30人の活動報告会を開きます。地域おこし協力隊、地域活性化起業人の皆さんの活動を知っていただく機会ですので、ぜひご参加ください。

日時・会場

3月2日(木)・3日(金)

両日とも9時～13時 (予定)

総合福祉センター 大集会室

参加方法(無料)

・会場に来場して参加
直接会場にお越しください。
(申し込み不要・入退場自由)

・オンラインで参加
QRコードからお申し込みください。
視聴用URLをお知らせします。

オンライン配信
視聴申し込み



問い合わせ ☎070-1226-0980 (株)エーゼ口厚真

本報告会は厚真町から委託を受け
(株)エーゼ口厚真が企画・運営します。

発表します! 将来の夢

厚真中央小学校6年



寺坂 絆くん



三宅 柚巴さん



野村 昇生くん



本木 結さん



第13回西日本選抜女子学童野球岡山大会 (12月24～25日、岡山県倉敷市)

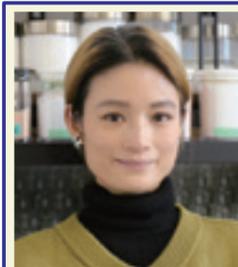
北海道スノーホワイト (北海道選抜) 佐藤遥さん(投手、厚真中央小6年)

成績：優勝



- ◇ 2回戦 10-0 対神戸フェアリーズ
- ◇ 3回戦 4-3 対滋賀あみんちゅガールズ
- ◇ 準決勝 6-0 対福井ダイヤモンドガールズ Jr
- ◇ 決勝 5-1 対しまねイザナミガールズ

宮坂町長と遠藤教育長に
優勝を報告する佐藤さん



協働型地域おこし協力隊
かわいしほ
河合志穂さん

着任：令和4年4月(1年目)
出身：東京都中央区

一これまでの経歴について教えてください。

大学を卒業後、カゴメ株式会社に入社しました。大阪支店に配属になり、営業や商品開発などを約7年半経験しました。退職後に沖縄へ移住し、製塩事業や塩の専門店事業を行っている株式会社パラダイスラインに転職しました。物流網の整備や商品開発を担当したほか、スタッフ教育の一環で塩の専門知識を習得するための社内資格のソルトソムリエ制度を立ち上げました。

一町ではどのような活動をしていますか？

町内のオープンタウン厚真一般社団法人で働いています。私は、フォーラムビレッジにある移築・再生した古民家を宿泊施設として活用する民泊事業の運営を担当しています。古民家を軸に厚真町に人が来る流れを作るための情報発信も行っています。

地域おこし協力隊

厚真町で活動している地域おこし協力隊をご紹介します！

現在活動している協力隊 (1月末現在)

農業支援員▷9人 教育魅力化支援員▷3人
起業型▷6人 協働型▷14人

地域活性化起業人
おおや じん
大矢 仁さん

着任：令和2年12月(3年目)
出身：東京都足立区



一これまでの経歴について教えてください。

愛媛大学大学院を卒業後、教授の紹介で東京都に本社のある株式会社森のエネルギー研究所に入社しました。4年間、森林の木材資源の活用促進事業や森林調査事業を担当してきました。以前から憧れがあり、いつか住みたいと思っていた北海道に営業所ができることになったタイミングで副所長に就任し、札幌市へ移住しました。

一所属先はどのような会社ですか？

森林資源を軸にして、地域づくりのコンサルティングがメインの会社です。森林の木をどのような形で燃料として活用できるか、森林環境を維持しながらどの程度エネルギーとして使用できるかを調査しています。森林管理計画の策定や二酸化炭素吸収量の試算なども行っています。

一所属先はどのような会社ですか？

古民家を活用した関係人口の創出事業を行っています。古民家での民泊事業のほか、レストランの開業も予定しています。町を訪れた人たちに気軽に立ち寄りもらえる場所を提供したいと考えています。

一厚真町に来ようと思ったきっかけは？

夫が、厚真町で事業創出に挑戦することになり、一緒に移住することを決めました。夫の仕事を近くで応援しながら、自分も何か新しいことに挑戦したいと思ったことがきっかけです。

一厚真町の印象を教えてください。

冬の厳しい寒さは覚悟していましたが、想定以上の寒さで驚きました。でも暖房設備が整っていて快適に生活ができています。皆さんとても親切で、困ったときに相談ののってくれるので助かっています。

一今後の目標は？

古民家の民泊事業を軌道に乗せて雇用を生み出したり、町内の企業同士で協力し、関係人口の創出に向けて取り組んでいきたいです。ハスカップが好きなので、過去の経験を活かして、ハスカップと塩、お米を使った新たな特産品の商品開発にも挑戦します。

一厚真町ではどのような活動をしていますか？

胆振東部地震の影響で崩れた森林の状況を調査しています。地理情報システムのソフトを使用して、ドローンで撮影した画像や衛星画像を地図上に重ね合わせて、地震によって崩落した森林や道路、残った木材の量などを記載した資料を作成しています。これらの調査結果は、震災復興計画に活用されます。

一なぜ森林に興味を持ち始めたのですか？

大学院を探しているときに、人間が生きていくうえで必要な水や空気を作り出す森林について何も知らないことに気づき、勉強してみたいと思うようになりました。

一厚真町の印象を教えてください。

新しいことに積極的に取り組む町という印象です。例えば、今回の森林調査のために新たにドローンの機材を導入したこともその一つと言えます。良いもの、良いことを取り入れる姿勢がすごいと思います。

一今後の目標は？

現在手掛けている森林の被災状況調査をしっかりと完結させることが第一の目標です。ドローンなどを活用したスマート林業といわれる分野に必要な設備を取り入れることで作業負担を軽減し、効率的かつ安全に調査できる環境づくりを提案できるようにしたいです。



こどもの予防接種

接種日	未就学児	水曜日	14時～15時(この時間は一般診療休み)	予防接種専用サイト
	小学生～19歳	月・金曜日	9時～12時、14時～17時	
		水曜日	9時～12時、15時～17時	
予約/受付接種場所	あつまクリニック ☎27-2422 京町15 前の週の金曜日までに予約が必要です(予約受付時間:9時～12時、15時～17時)			
持ち物	母子健康手帳、予診票			

予約時は、予防接種専用サイトで接種対象であるかどうかを確認してください。専用サイトと母子健康手帳の接種履歴に相違がある場合などは、住民課健康推進グループ(保健師)までご連絡ください。

	対象者	標準的な接種期間と回数
ロタウイルス(1価)	生後6～24週未満	27日以上あけて2回 ※1回目は14週6日までに接種
B型肝炎	生後2カ月～1歳未満	(初回)27日以上あけて2回 (追加)1回目終了後から20週以上あけて1回
ヒブ	生後2～60カ月未満	(初回)生後2～7カ月未満(27日以上あけて3回) (追加)初回後7～13カ月あけて1回
小児肺炎球菌	生後2～60カ月未満	(初回)生後2～7カ月未満(27日以上あけて3回) (追加)生後12～15カ月未満(初回後60日以上あけて1回)
四種混合 (ジフテリア・破傷風・百日咳・ポリオ)	生後3～90カ月未満	(初回)生後3～12カ月未満に20～56日あけて3回 (追加)初回後12～18カ月あけて1回
二種混合 (ジフテリア・破傷風)	11～13歳未満	11歳で1回
BCG	生後5カ月～1歳未満	生後5～8カ月未満に1回
MR混合 (麻しん・風しん)	(1期)生後12～24カ月まで (2期)年長児相当(就学前の1年間)	1期、2期ともに1回
水痘(水ぼうそう)	生後12～36カ月未満 ※すでに罹患済みの場合は対象外	(初回)生後12～15カ月未満に1回 (追加)初回後6～12カ月あけて1回
おたふくかぜ(任意)	1歳以上 ※すでに罹患済みの場合は対象外	1歳以上で1～2回 ※町独自助成により1～3歳までの初回1回のみ無料
日本脳炎	(1期)生後6カ月～7歳6カ月未満 (2期)9～13歳未満 ※特例対象者は20歳未満まで接種可	(1期初回)3歳:6～28日あけて2回 (1期追加)4歳:1期初回終了後約1年あけて1回 (2期)9歳:1回
HPV (ヒトパピローマウイルス) (4価)	小学校6年生～高校1年生相当の女子	中学1年生で3回 (2回目)2カ月以上あけて2回 (3回目)1回目から6カ月以上あけて1回

3月の日曜・祝日当番医 診療時間:9時～17時

日程	診療科	病院名	住所(苫小牧市)	電話(0144)
5日	内科系 たくしん小児科		拓勇西町3-1-1	53-7788
(日)	外科系 勤医協苫小牧病院		見山町1-8-23	72-3151
12日	内科系 にしん内科クリニック		日新町2-6-43	71-1500
(日)	外科系 同樹会苫小牧病院		新中野町3-9-10	36-1221
19日	内科系 おおはた内科循環器クリニック		三光町1-2-11	38-8500
(日)	外科系 苫小牧日翔病院		矢代町2-9-13	72-7000
21日	内科系 たかやなぎ小児科		日新町2-7-8	71-2115
(火祝)	外科系 とまこまい脳神経外科		光洋町1-12-20	75-5111
26日	内科系 柴田内科循環器科		桜木町1-24-18	71-2225
(日)	外科系 みらい整形ペインクリニック		北栄町1-22-43	53-7100

※医療機関が変更になる場合があります。病院や新聞などで事前に確認してください。

苫小牧市夜間休日急病センター

夜間・休日は急病センターも診察を受け付けています。
診療科目 内科・小児科
住所 苫小牧市旭町2-9-2
電話 0144-32-0099
平日 19時～翌朝7時
診療時間 土曜日 14時～翌朝7時
休日 9時～翌朝7時

北海道救急医療・広域災害情報システム

近くの医療機関などが検索できます
<http://www.qq.pref.hokkaido.jp>
☎0120-20-8699
☎011-221-8699(携帯・PHSから)

保健の掲示板 3月

住民課 健康推進グループ ☎26-7871
(総合ケアセンターゆくり内)

健診・検診・相談・教室など

①ニューママ ②プレママ教室

対象 ①生後2～6カ月児のママ
②現在妊娠中の方

内容 ①ベビーマッサージ、助産師相談
②マタニティーヨガ、助産師指導

と き 3月3日(金)厚南子育て支援センター
①9時30分～10時30分
※お子さんの計測をご希望の場合は9時～9時30分にお越しください
②10時45分～11時45分

持ち物 ①母子健康手帳、バスタオル、ベビーオイルやベビークリーム
②母子健康手帳、ヨガマット(バスタオル可)、動きやすい服装

申し込み 2月28日(火)までに子育て支援センターまたは健康推進グループまで

1歳6カ月児健診

対象 令和3年6月15日～令和3年9月8日
生まれのお子さんと保護者

と き 3月8日(水) ※個別に案内

と ころ 総合ケアセンターゆくり

持ち物 母子健康手帳、バスタオル、アンケート、歯の健康ノート、歯ブラシ

3歳児健診

対象 令和2年1月12日～令和2年3月15日
生まれのお子さんと保護者

と き 3月15日(水) ※個別に案内

と ころ 総合ケアセンターゆくり

持ち物 母子健康手帳、バスタオル、アンケート、歯の健康ノート、歯ブラシ、早朝尿

こころの相談

「気持ちが落ち込む」などのこころの健康や子育ての悩みを抱える親御さんの相談に臨床心理士が応じます。



と き 2月17日(金)、3月17日(金)
10時～15時(1人あたり50分程度)

と ころ 総合ケアセンターゆくり

申し込み 1週間前までに申し込みください
(住民課 健康推進グループ)

保健所の相談

問い合わせ 苫小牧保健所 ☎0144-34-4168

相談・検査の名称	日程
女性の健康相談	
妊娠、出産、子育てなど女性の心身の相談	3月20日(月)
肝炎ウィルス検査	
感染が疑われる方は無料(要事前確認)	3月14日(火)
骨髄バンク登録	
登録の基準があります	3月14日(火)
HIV検査(エイズ相談)	
無料、匿名検査(要事前確認)	下記に確認
エイズ専用電話 ☎0144-35-7474	

新型コロナワクチン

12歳以上の集団接種は終了しました。2月以降はあつまクリニックでの個別接種です。(下記QRコードで予約)

生後6カ月～4歳

【使用するワクチン】ファイザー生後6カ月～4歳用ワクチン
※接種を希望される方は、住民課健康推進グループまでご連絡ください。

5～11歳

【使用するワクチン】小児用ファイザー社ワクチン
※5歳の誕生日を迎えた方で接種を希望される方は、接種券の交付申請が必要です。

苫小牧市の医療機関でも接種が可能です。事前に下記へ電話し、必要事項を登録後に医療機関へ予約します。
【とまこまいコロナワクチンコールセンター ☎0144-82-9660】
詳しくは、苫小牧市ホームページをご覧ください。

12歳以上

【使用するワクチン】いずれもファイザー社ワクチン
初回接種(1、2回目):従来株ワクチン
追加接種(3～5回目):オミクロン株対応2価ワクチン
※オミクロン株対応2価ワクチンは、初回接種(1、2回目)を完了した方で、最終接種日から3カ月以上経過した12歳以上のすべての方が1人1回接種できます。
※12歳の誕生日を迎えた方で接種を希望される方は、接種券の交付申請が必要です。

厚真町へ転入された方

厚真町へ転入された方でお手元に接種券が届かない方は、接種券の交付申請が必要です。



新型コロナワクチン
インターネット予約は
こちらから



健康情報



担当
管理栄養士 竹田 卓苗

今月のテーマ

「令和3年度厚真町食生活実態調査」 結果から見た食習慣の特徴～食物繊維編～

平成28年度・令和3年度の食物繊維摂取の調査結果



食物繊維の摂取量が目標量を下回る
町は、令和3年度に町内在住の3歳から15歳までの子どもと保護者に食生活実態調査を実施しました。その結果、「塩分摂取量が多い」「食物繊維が不足」「菓子や嗜好飲料の摂取量が多い」とが分かりました。また、食物繊維の摂取量は、男女を問わずほとんどの年代で日本人の食事摂取基準(令和2年版)の目標量を下回りました。食物

繊維の摂取は、生活習慣病の発症や重症化予防に効果的で、積極的な摂取が必要です。
なぜ食物繊維をとったほうが良いのか?
①食べた物の消化吸収が遅らせる働きがある
↓粘性が強く、糖の吸収を遅らせ脂肪を吸着する働きがあり、生活習慣病予防につながります。
②腸内細菌のエサになる
↓善玉菌の増殖を抑えり、悪玉菌の増殖を抑えて免疫細胞が住みやすい

環境になります。
③便秘を解消する
↓水分を吸収して、便の量を増やす働きがあります。便の量が少ないと便秘になりやすく、大腸ガンの原因になります。
④満腹感がアップし減量につながる
↓食物繊維は胃で消化されるまで時間がかかるため、食べ物を長く胃に留めて腹持ちが良くなります。

こんな献立がおすすめ
食物繊維が多く含まれる食品…穀類、芋類、野菜、キノコ類、豆類、海藻類、果物など

白飯	0.6g	ライ麦パン	4.0g	押麦入りご飯	1.2g
わかめとキノコ	2.5g	カボチャの豆乳スープ	2.9g	鮭のちゃんちゃん焼き	2.3g
たっぷりみそ汁	2.5g	トマトとほうれん草の	1.3g	根菜とこんにゃくのきんぴら	4.0g
オクラ納豆	3.7g	オムレツ	1.3g	キウイフルーツ1/2個	1.3g
切干大根の煮物	1.8g	ブロッコリーとアボカドの	4.3g	食物繊維合計	8.8g
食物繊維合計	8.6g	サラダ	12.5g		



目指そう野菜1日350gレシピ

電子レンジで簡単調理 「手作りしゅうまい」



材料
(10個分)

シューマイの皮	10枚	コーン	30g
とりひき肉	200g	小松菜	60g
★タマネギ	1/2個	みそ	大さじ1
★しいたけ	3枚	(お好みで)	酢、からし
★ニンジン	40g		

1個分 熱量…59kcal 食塩相当量…0.3g 野菜…20g

- ★をみじん切りにする。小松菜は食べやすい大きさに切る。
- とりひき肉と、★とみそをよく混ぜ合わせる。
- シューマイの皮に②を入れて包み、コーンを上にのせる。
※コーンは具に混ぜてもよい。
- 耐熱皿に小松菜を置き、その上に③を乗せて水をふりかけ、ふわっとラップをかけて電子レンジ600wで6分加熱する。
※小松菜は、白菜やキャベツなどでも良い

問い合わせ 住民課 健康推進グループ(総合ケアセンターゆくり内) ☎26-7871

高血圧への知識を深めませんか?

栄養教室

問い合わせ・申し込み
住民課 健康推進グループ☎26-7871
(総合ケアセンターゆくり内)

日時: 3月2日(木) 10時30分~12時
場所: 総合ケアセンターゆくり 介護学習室
対象: 町民の方
定員: 20人
内容: 保健師や栄養士の講話、減塩料理を試食
持ち物: 筆記用具
参加費: 無料
申し込み: 2月20日(月)まで

子育て支援センター

3月のよてい

申し込み・問い合わせ・予約・相談

厚真子育て支援センター ☎27-2438 京町152(こども園つみきに併設)
厚南子育て支援センター ☎28-3155 上厚真258-7(宮の森こども園に併設)
※講座などの申し込みは会場となる子育て支援センターまで

子育て講座 こども園で使うシート作り

内容: こども園のお昼寝で使うシートを作ります
日時: 3月8日(水) 10時~11時
場所: 厚真子育て支援センター
持ち物: バスタオル(60cm×120cm)、平ゴム(幅2.5cm・長さ50cm×4本)、裁縫セット(針、糸、まち針、はさみ)
定員: 7組 申し込み: 3月1日(水)まで

子育て講座 おはなしのびっこ&メディアミニ講座

内容: 絵本の読み聞かせ、メディアに関するミニ講座&相談会
日時: 3月23日(木) 10時~10時45分
場所: 厚南子育て支援センター
申し込み: 不要

子育て講座 あそびの幅をひろげよう

内容: 前半: 手遊び、わらべ歌、体を使った遊びほか
後半: 子育てミニ講座「6歳までに育てたいこと」
日時: 3月10日(金) 10時~11時
場所: 厚南子育て支援センター
定員: 7組 申し込み: 3月3日(金)まで

Helloえいご・えいごであそぼう

10時~10時30分
隔月、各センターで、ALTの先生と遊びを通じて英語に触れる事ができます。開催日は情報誌をご覧ください。

- ・自由開放
- ・子育て相談(※要事前連絡)…月曜~金曜日 9時~12時、13時~15時
- ・サークル活動(※予約制)…月曜~金曜日 13時~15時

町では、平成30年北海道胆振東部地震の被災以降、地域コミュニティの基軸となる自治会を主体とした自主防災組織の設立と避難計画の策定支援を行いました。これまで、8自治会で自主防災組織の設立と避難計画を作成していただきました。

このほか、新しく設立された自主防災組織へは、防災資機材の無償貸与および活動費援助なども実施しており、新設された自主防災組織には、活発かつ充実した防災活動を行っていただいています。

令和2年以降のコロナ禍の状況で、人が集まった説明会、計画作成のための検討・ワークショップ等がなかなか行えず今日に至っていますが、現在では

ワクチン接種の普及と感染症対策を講じながら経済活動も日常的となりました。また、災害は情勢に関わらず不意に発生する可能性があることから、それまでに必要な災害に対する体制の確立と備えを整理・計画し、事前に準備しておくことが重要となります。

町では、自主防災への取り組み説明会、自主防災組織の設立、避難計画等の作成、防災訓練等への支援および自主防災組織の設立が前提となりますが、防災資機材の無償貸与、防災活動費補助、このほか、新しく作成・配布した厚真町総合防災マップの勉強会なども開催していますので、総務課防災グループにお問い合わせください。

自主防災組織の活動

自主防災組織とは、防災に関する住民の責務を果たすため、地域住民が「自分たちの地域は自分たちで守る」という自覚、連帯感に基づいて自主的に結成する組織です。

平時

防災知識の普及や啓発、地域の安全や設備の点検、防災訓練などを行います。

- ・防災知識の普及・啓発
- ・地域内の安全点検
- ・防災訓練



災害時

情報を収集して住民に迅速に伝え、被災者の安否確認や自分一人では避難できない高齢者や障がい者、妊産婦、外国人などの避難行動要支援者を含む避難の誘導、避難先での避難所の運営などの役割を担います。

- ・情報の収集・伝達
- ・安否確認
- ・避難行動要支援者の避難支援
- ・住民の避難誘導
- ・救出救護 ・初期消火
- ・避難所の管理・運営



停電情報をLINEやチャットでお知らせします

停電情報をLINEでお知らせ
公式アカウントを友だち追加してください

停電・設備に関するお問い合わせは
チャットでも受け付けています



友だち追加は
こちら

情報を受け取りたい
地域を登録してください



チャットは
こちら



北海道電力ネットワーク(株) 苫小牧支店 お客様サービスグループ ☎0120-060-852(平日9時~17時)

宮の森こども園民営化 移管先法人が決定しました

住民課 子育て支援グループ ☎26-7872

厚真町では、令和2年3月に子育て支援の指針となる「第2期厚真町子ども・子育て支援事業計画」を作りました。「子どもの最善の利益が実現され、すべての子どもたちが健やかに育ち、子育ての関わりを通して家庭・地域が子どもの成長と喜びを実現できるまち」を基本理念に、町、家庭、教育・保育関係機関および地域がそれぞれの責務と役割のもと、一体となって総合的に子育て支援施策を推進しています。

その取り組みの一環として、さらなる保育・教育サービスの充実を図るため、令和6年4月から宮の森こども園を民設民営による「公私連携保育所型認定こども園」へ移管することとし、このたび移管先法人が決まりました。

令和4年10月28日に選定委員会による応募法人の審査を行い、候補者を選定し、12月16日に総合ケアセンターゆくりで協定締結式を行いました。

1. 移管先法人の概要

法人名	社会福祉法人みつわ福祉会
理事長	大城 昌信
法人番号	〒901-1113
所在地	沖縄県島尻郡南風原町字喜屋武416番地2
法人設立日	昭和52年2月18日
運営施設	みつわ保育園 所在地は法人所在地と同じ

2. 移管日

令和6年4月1日

※令和5年度は共同保育を実施し、これまで宮の森こども園が培ってきた教育・保育内容や、行事・地域との関係など施設運営全般、園児に関することなど、1年かけて引継ぎを行います。



協定書を交わしたみつわ福祉会の大城理事長(左)と宮坂町長

まちのアイドル



ふじもとはなちゃん



てらさか じんとくん



おおた いろはちゃん

3歳以下のお子さんの写真を募集しています。住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、両親の氏名(ふりがな)、電話番号を明記の上、まちづくり推進課企画調整グループへ。〈メール〉kikaku@town.atsuma.lg.jp

住宅用火災警報器を設置しましょう

住宅用火災警報器の設置は、消防法で義務づけられています。町内の設置率は12月末時点で全世帯数の91.9%です。胆振東部消防組合消防署厚真支署では未設置の住宅への普及・促進に取り組んでいます。



問い合わせ
胆振東部消防組合
消防署厚真支署
☎26-7119

住宅用火災警報器は、台所への設置も推奨しています

道内で発生している火災の原因で最も多いのは、全体の約7割を占める台所です。原因別では、コンロからの出火が全体の約6割を占めています。コンロの火の消し忘れや調理中に電話などでその場を離れたちょっとした不注意から、火災が発生していま

す。住宅用火災警報器の設置で、被害を最小限に抑えた奏功事例も多数あります。厚真町では、就寝時の逃げ遅れを防ぐため、寝室と寝室につながる階段または廊下に設置することになっていますが、併せて台所への設置をおすすめしています。

情報ひろば

家族
日時 2月22日(水) 14時～16時(先)
対象 おおむね15歳から49歳の方とご
内容 働きたいと思われる方に向
 けた就労自立支援施設です。その
 ほか就職相談も歓迎です。「働きた
 い」を応援する無料出張相談会を
 開催します。

働きたい方のための出張相談会

**警察・消防・海上保安署・自衛隊の
 合同説明会**
開催日時 2月23日(木祝) 午前の部10時～12
 時、午後の部13時～15時
場所・内容 苦小牧市民活動センター(苦小牧市
 若草町3-3-8) ※各組織がブース
 を設けて概要などを説明します。
問い合わせ 苦小牧警察署(☎0144-35-10
 110)、苦小牧消防本部総務課(☎
 0144-84-5014)、苦小牧海
 上保安署(☎0144-33-0118)、
 自衛隊札幌地方協力本部苦小牧出
 張所(☎0144-32-3725)

着順、予約可)
場所 ワークプラザとまこまい(苦小牧市
 表町5-11-5フレンドビル3階)
問い合わせ とまこまい若者サポートステーション・とまこまい「サポステ・プラス」(☎
 0144-84-8670)

**町税・保険料
 今月の納期**

科目	固定資産税(第4期)
納期	2月28日(火)

問い合わせ
 住民課税務グループ ☎26-7871

**運転免許証
 更新時講習**

3月

苦小牧市交通安全センターで行っている
 運転免許証更新時講習(優良)の日程をお
 知らせします。
 この他の講習日程(一般、違反、初回)
 については、下記までお問い合わせくだ
 さい。

10時30分～11時
2日(木)、8日(水)、9日(木)、13日(月) 14日(火)、17日(金)、20日(月)、23日(木) 27日(月)、30日(木)、31日(金)
13時30分～14時
7日(火)、15日(水)、22日(水)、28日(火)

(一社)苦小牧地区交通安全協会
 ☎0144-33-1458

まちの善意

厚真町社会福祉協議会への寄付

**手紙を守るための
 ルールがあります**
 手紙やはがきなどの信書は、原則と
 して、日本郵便株式会社および信書便
 事業者だけが取り扱うことができます
 と定められています。宅配便やメール便
 では、原則として信書の送付はできま
 せん。
問い合わせ 総務省情報流通行政局郵政行政部郵
 便課(☎03-5253-5975)

町職員の人事異動

1月1日付で町部局の人事異動
 が発令されました。
 ※()内は前職

昇格

- ・総務課総務人事グループ主任
 ▼山家和也(同グループ主事)
- ・まちづくり推進課企画調整グ
 ループ主査▼矢代直樹(同グ
 ループ主任)
- ・住民課税務グループ主査▼伊
 東睦美(同グループ主任)
- ・住民課民生生活グループ主任

異動

- ・産業経済課経済グループ主任
 ▼森田綾(同グループ主事)
- ・建設課建築住宅グループ主査
 ▼高橋俊一(同グループ主任)
- ・建設課建築住宅グループ主任
 ▼上田直輝(同グループ主事)
- ・建設課上下水道グループ主任
 ▼齋藤陸(同グループ主事)

新任

- ・木澤真生(同グループ主事)
- ・住民課子育て世代包括支援セ
 ンター主任▼井上朋美(同セ
 ンター主事)
- ・住民課子育て支援グループ主
 任▼森田崇公(同グループ主
 事)

ひと育て・まち育てシンポジウム

— 協働・共創・共感の実現を目指して — by カーボンニュートラル

平成30年北海道胆振東部地震後、厚真町・
 安平町・むかわ町の胆振3町は官民連携して、
 復旧・復興を中心に取り組んできました。
 これからは、特に地域創生・SDGsや脱炭素
 社会の実現をめざした復旧・復興や、カーボン
 ニュートラルなどに対応して、地域社会のある
 べき姿を対話から再確認のうえ、実践していく
 ことが肝要となります。
 国の政策や地元の自治体政策の実現に向け
 て、住民の皆さんとの対話の機会を設けるため、
 3町連携、3省協力による講演会を開催します。

講話
 木村俊昭氏
 (地域創生実践総合研究所所長・東京農業大学教授・東
 京大学大学院非常勤講師)

基調講演
 林泰三氏(農林水産省大臣官房審議官)
 吉田健一郎氏(経済産業省地域経済産業政策統括調整官)
 白石隆夫氏(環境省地域脱炭素推進審議官)

災害復旧経過報告
 宮坂尚市朗 厚真町長
 及川秀一郎 安平町長
 竹中喜之 むかわ町長

とき 2月24日(金)
 14時～16時30分

ところ 総合福祉センター大集会室

参加無料

主催/日本地域創生学会・地域創生実践総合研究所 共催/厚真町、安平町、むかわ町
 協力/経済産業省、環境省、北海道文教大学、東京農業大学、東京大学



こぶしの湯あつま 問い合わせ こぶしの湯あつま ☎26-7126

イベントカレンダー3月

日	月	火	水	木	金	土
			1 高齢者券	2 [3倍] レディース	3	4
5 ちびっこ	6 [3倍]	7 メンズ	8 高齢者券	9 レディース	10	11
12 [3倍] ちびっこ	13 シルバー	14 メンズ	15 [2倍] 高齢者券	16 [3倍] レディース	17	18
19 ちびっこ	20 シルバー	21 メンズ	22 [3倍] 高齢者券	23 レディース	24 [2倍]	25
26 風呂の日	27 シルバー	28 メンズ	29 高齢者券	30 レディース	31 町民の日	

毎週日曜▷ちびっこデー:小学生はサービス券2枚
 毎週月曜▷シルバーデー:65歳以上はあつまるカード
 ポイント3倍
 毎週火曜▷メンズデー:男性はサービス券2枚
 毎週水曜▷高齢者無料入浴券の日:町交付の無料入浴券ご
 利用でヘルシーセットが750円→550円
 毎週木曜▷レディースデー:女性はサービス券2枚
 最終金曜▷町民の日:誕生月の町民はレストラン利用で入
 浴無料
 毎月26日▷風呂の日:あつまるカードポイント3倍、サービ
 ス券2枚

- ・2と6のつく日はあつまるカードポイント3倍
- ・5のつく日は町交付の無料券利用であつまるカード
 ポイント5倍



有限会社沼田重機 2代目社長
 Vol.34 ぬまた まさかず
沼田 正和さん

夜が明けぬ早朝。1本の電話で1日が始まります。重機にエンジンをかけて運転手の到着を待ちます。降雪状況を見ながら、効率の良い作業をイメージし、従業員に伝えます。運送業などを営む傍ら、町道の除排雪を受け持ち、雪害の解消に汗を流します。宇隆地区の事務所を訪れ、沼田さんに話を聞きました。

町道の除雪で冬の交通障害を解消

町建設課は、今シーズン6社に除排雪を委託し、町道の総延長距離は251・8km。厚真町から七飯町の大沼公園までの距離（約262km）に匹敵します。このうち、沼田重機は、美里・新町・宇隆・東和・富里・ルーラル・フォーラム地区の町道約40kmを担当しています。気象状況にもよりますが、積雪10cmを目安に役場担当者が午前4時ごろ業務委託先に電話連絡します。「前日から、作業が予測できる場合はいいのですが、こればかりは天気次第なので、絶えず気は抜けないですね」。

通勤・通学時間帯までに除雪作業を終わらせませす。道幅が狭くならないように、道路脇に手際よく雪を寄せていき、排雪作業がある場合はすべての除雪の終了後に行うそうです。「気を遣うのは、マンホールでしょう。しばれた（厳しく冷え込んだ）時は、マンホールのふたが凍結して微妙に持ち上がりま

す。道路スレスレに除雪しようとする、ひっかけて破損につながります」。道路に凹凸がでないように、道路を熟知する重機オペレーターが、長年の経験で雪質などを見極めながら作業を進めます。

昨年1月12日。沼田さんは、役場の電話で目覚めました。外に出ると、ひざほどの積雪。「出勤途中の従業員から『途中で車が動けなくなった』と電話があり、重機で迎えに行きました。住民の皆さんの理解と協力で、混乱はありませんでした」。会社の事務は、妻のめぐみさんが担当します。家庭でも職場でも、内助の功が光ります。「子どもの成長を見ること」が、結婚20年目を迎える2人の楽しみです。

「住みやすく大好きな厚真のために、これからも誠実な仕事を通じて地域に貢献したいですね」

厚真で暮らす人、働く人、応援してくれる人、訪れる人・・・
 みんな、みんな、**ATSUMA LOVERS**